

- 問1 滋賀県に位置する安土城や長浜城、坂本城などの城郭は、その立地に共通した特徴があります。戦国時代から安土桃山時代にかけて、これらの城が琵琶湖のすぐ近くに築かれた主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
- 琵琶湖の豊かな水を利用して、水田開発を進めるための農業拠点とするため
 - 琵琶湖を天然の堀として防御に利用し、同時に湖上の船を利用した物流や軍隊の移動を円滑にするため
 - 内陸部からの敵の侵入を防ぐため、周囲に広大な平野が広がる近江盆地の中央部に孤立させるため
 - 険しい山頂に築くことで、標高の高さによる圧倒的な視認性を確保し、敵軍の侵入を物理的に遮断するため
- 問2 江戸時代から明治時代にかけての、滋賀県における輸送手段の変化について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)
- 鉄道は旅客専用として整備されたため、物資の輸送については明治時代末期まで琵琶湖の船運が独占していた
 - 明治時代中期以降、東海道線などの鉄道網が整備されたことで、琵琶湖の水上輸送から鉄道へと輸送の主役が交代した
 - 明治時代初期に琵琶湖の全域を埋め立てる工事が行われたため、水上輸送から鉄道へと強制的に切り替えられた
 - 鉄道よりも北前船による日本海ルート需要が高まったため、明治時代を通じて琵琶湖の利用者が増加し続けた
- 問3 紀伊半島の東側に位置し、東側で伊勢湾に面している都道府県について述べた文として、正しいものはどれですか。2016年に主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）が開催された志摩市の賢島が属する自治体を選択してください。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
- 和歌山県
 - 滋賀県
 - 愛知県
 - 三重県
- 問4 近畿地方から中国・四国地方にかけての気候を調査した資料において、年間を通じて温暖であり、かつ「年間降水量が他の地域に比べて著しく少なく、冬の降水量も穏やかである」という統計的な特徴を示す地点の名称として正しいものはどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
- 日本海側の気候
 - 瀬戸内の気候
 - 中央高地の気候
 - 太平洋側の気候
- 問5 日本の地方区分において、近畿地方に属する三重県と、中部地方に属する愛知県の地理的な関係について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2015年 富山県公立入試 類似)
- 三重県と愛知県は、ともに近畿地方に属しており、古くから同じ行政区画であった。
 - 三重県と愛知県の境界には飛騨山脈が位置し、陸路での移動は困難である。
 - 三重県と愛知県は、伊勢湾を挟むとともに、陸上でも境界を接している。
 - 三重県と愛知県の間には静岡県が位置しており、両県は境界を接していない。
- 問6 ある地域の人口移動について、昼間人口比率が100%を下回っている奈良県や兵庫県と、100%を超えている大阪府との関係を説明したものとして、正しい記述を選びなさい。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
- 鉄道網の整備により、大阪府から周辺の府県へ通勤・通学する流れが、流入する流れを上回っている。
 - 奈良県や兵庫県は、大阪府へ労働力や学生を送り出す「ベッドタウン」としての役割を果たしている。
 - 大阪府の昼間人口が多いのは、主に港湾施設での物流作業に従事する人々が周辺府県から集まるためである。
 - 大阪府は、奈良県や兵庫県に住む高齢者が医療や福祉サービスを受けるために昼間のみ移動してくる都市である。
- 問7 近畿地方の南部に位置する和歌山県を中心とした紀伊山地一帯には、古くから信仰の対象とされてきた霊場と、そこへ通じる参詣道が残されています。この地域が「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界文化遺産に登録された際、その中心となった歴史的な山道の名称として正しいものはどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
- さくらんぼの栽培園
 - 霧島ジオパーク
 - 熊野古道
 - 瀬戸大橋
- 問8 滋賀県では1970年代に発生した赤潮などの環境問題を受け、1979年に「りん」を含む家庭用合成洗剤の使用や販売を禁止する全国でも先駆的な条例を制定しました。この背景として、滋賀県にある琵琶湖が、下流に位置するどの地域の生活用水を支える重要な水資源となっていることが挙げられますか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
- 大阪を中心とする都市圏
 - 名古屋を中心とする都市圏
 - 福岡を中心とする都市圏
 - 広島を中心とする都市圏
- 問9 歴史的な景観を重視する地区において、地上にある電柱を撤去し、電線を地下に埋める取り組みが行われる主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
- 大型の緊急車両が通行できるように、道路の幅員を大幅に広げるため
 - 伝統的な建築物と調和した美しい景観を保全し、観光資源としての価値を高めるため
 - 歴史的建造物を取り壊し、跡地に近代的なオフィスビルを建設しやすくするため
 - 街灯の数を減らすことで、夜間の電力消費を抑え、環境負荷を低減するため
- 問10 京都市では、歴史的なまちなみや文化財を守るために、他の都市にはあまり見られない独自の都市景観に関する制限が設けられています。その地理的背景や取り組みに関する説明として、最も適切なものはどれか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
- 盆地特有の歴史的な景観を維持するため、建物の高さや色、広告物のデザインに対して厳しい規制が行われている。
 - 観光客の増加に対応するため、歴史的な社寺を解体し、最新の宿泊施設や高層マンションの建設を推進している。
 - 周囲を海に囲まれているため、津波被害を防ぐ目的で海岸沿いに高い防潮堤を築く都市計画が優先されている。
 - 大阪府や神戸市のような大都市への人口流出を防ぐため、盆地全体を大規模な工業団地として再開発している。
- 問11 神戸市の開発において、全長約14.5キロメートルに及ぶベルトコンベヤなどを用いて六甲山地の土砂を海へと運び、大規模な都市機能を備えた陸地を確保した事例として、最も適切な名称はどれですか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
- 淡路島
 - ポートアイランド
 - 直島
 - 小豆島
- 問12 近畿地方の各地の気候を比較したとき、日本海側に位置する舞鶴市の降水量の特徴を述べたものとして正しいものはどれですか。なお、近畿地方南部の潮岬など、台風の影響を強く受ける地域では、9月の降水量が300mmを超えることがあります。 (2022年 岩手県公立入試 類似)
- 1年を通してほとんど雨が降らず、特に冬季は北西からの乾燥した季節風の影響で極端に湿度が低くなる。
 - 梅雨の時期である6月に年間最大の降水量を記録し、冬は季節風が山脈に遮られるため、雪や雨はほとんど降らない。
 - 9月の降水量は約220mm程度であり、冬季は北西からの季節風の影響で、太平洋側の地域に比べて降水が見られる。
 - 年間を通じて降水量が非常に多く、特に9月の降水量は300mmを大きく超えることが最大の特徴である。
- 問13 滋賀県の面積の約6分の1を占める日本最大の湖であり、近畿地方の広い範囲に生活用水や工業用水を供給する「近畿の水がめ」としての役割を担っている湖の名称を選びなさい。 (2021年 山口県公立入試 類似)
- 浜名湖
 - 琵琶湖
 - 中海
 - 霞ヶ浦

答え合わせ・解説

問1	答え 2 琵琶湖を天然の堀として防御に利用し、同時に湖上の船を利用した物流や軍隊の移動を円滑にするため	織田信長が築いた安土城や羽柴秀吉が築いた長浜城などは、いずれも琵琶湖に面するように配置されています。これは琵琶湖を巨大な堀に見立てて城の防御力を高めるだけでなく、当時、近畿地方と北陸・東国を結ぶ重要な交通路であった琵琶湖の水運（舟運）を掌握し、物資や兵員を効率的に運ぶ狙いがありました。このように、軍事的な拠点としての役割と、交通・物流の管理という経済的な役割の両立を図った立地といえます。
問2	答え 2 明治時代中期以降、東海道線などの鉄道網が整備されたことで、琵琶湖の水上輸送から鉄道へと輸送の主役が交代した	滋賀県では古くから琵琶湖を利用した物資輸送が盛んでしたが、明治時代に入り、近代化政策の一環として東海道線などの鉄道が整備されると、交通体系が大きく変化しました。特に明治時代中期以降は、大津や長浜といった拠点が鉄道で結ばれたことにより、長年続いていた水上輸送から、より効率的な鉄道輸送へと物流の構造が転換しました。
問3	答え 4 三重県	紀伊半島の東部に位置し、伊勢湾に面しているのは三重県です。三重県は近畿地方に含まれますが、中京工業地帯の一角を担うなど、愛知県を中心とする東海地方（中部地方）との結びつきも非常に強いという特徴があります。志摩市の賢島は、2016年の伊勢志摩サミットの会場となりました。
問4	答え 2 瀬戸内の気候	日本の気候区分において、降水量が少ない地域には「瀬戸内の気候」と「中央高地の気候」がありますが、瀬戸内海沿岸は中央高地（内陸）に比べて冬でも気温が下がりにくく、年間を通じて温暖であるという特徴を併せ持っています。日本海側は冬の降水量（降雪）が多く、太平洋側は夏の降水量が多いことと比較すると、瀬戸内の降水量の少なさは際立っています。
問5	答え 3 三重県と愛知県は、伊勢湾を挟むとともに、陸上でも境界を接している。	三重県（近畿地方）と愛知県（中部地方）は、伊勢湾の湾奥部で境界を接しています。この隣接関係により、両県は岐阜県とともに中京工業地帯を形成し、強い経済的ネットワークを持っています。長野県や静岡県などは、三重県とは直接境界を接していません。
問6	答え 2 奈良県や兵庫県は、大阪府へ労働力や学生を送り出す「ベッドタウン」としての役割を果たしている。	昼間人口比率が100%を下回るということは、その地域に住んでいる人が昼間は他の地域へ外出していることを意味します。奈良県（89.8%）や兵庫県（95.6%）は、鉄道を利用して大阪府内の企業や学校へ通う人々の居住地となっており、このような地域は「ベッドタウン」と呼ばれます。大阪府が104.5%という高い数値を示すのは、これら周辺の「ベッドタウン」から鉄道網を通じて多くの通勤・通学者を受け入れているためです。
問7	答え 3 熊野古道	和歌山県、三重県、奈良県にまたがる紀伊山地は、険しい山岳環境そのものが信仰の対象となってきました。ここに位置する「熊野古道」は、熊野三山を参拝するために多くの人々が歩いた歴史的な道であり、2004年にユネスコの世界文化遺産に登録されました。霧島ジオパークは宮崎県と鹿児島県、さくらんぼ栽培は主に山形県、瀬戸大橋は岡山県と香川県を結ぶ施設であり、いずれも和歌山県の特徴には当てはまりません。
問8	答え 1 大阪を中心とする都市圏	滋賀県の面積の約6分の1を占める琵琶湖は、淀川を通じて大阪府や京都府、兵庫県などを含む広大な都市圏の生活用水や工業用水を供給しており、「近畿の水がめ」と呼ばれています。1970年代、生活排水に含まれるリンを原因とする富栄養化によって赤潮が発生し、飲み水の異臭や漁業への被害が深刻化したため、滋賀県は下流の都市圏を含めた水資源を守るために厳しい環境条例を制定しました。
問9	答え 2 伝統的な建築物と調和した美しい景観を保全し、観光資源としての価値を高めるため	電線の地中化は、視覚的に邪魔な構造物を排除することで、古い町並みの雰囲気を最大限に引き出す目的で行われます。これにより、観光客にとって魅力的な景観が創出され、地域経済の活性化にもつながります。また、景観の向上だけでなく、電柱がなくなることによって歩行者の安全性が高まったり、地震などで電柱が倒壊するリスクを防いだりする防災上の利点も併せ持っています。
問10	答え 1 盆地特有の歴史的な景観を維持するため、建物の高さや色、広告物のデザインに対して厳しい規制が行われている。	京都市は、古くからの社寺や伝統的な家屋が残る「古都」としての価値を維持することを重視しています。そのため、「景観条例」などによって、建物の高さや外観の色、さらには看板（広告物）のデザインにいたるまで厳しいルールが設けられており、歴史的な街並みと調和した都市づくりが行われています。これは、観光資源としての魅力を守るための重要な施策となっています。
問11	答え 2 ポートアイランド	神戸市の都市開発では、山地を削った際に出る大量の土砂を効率よく海へ運搬するため、専用のベルトコンベヤが活用されました。これにより、1981年には当時世界最大級の人工島であるポートアイランドが完成し、その後も六甲アイランドの造成へと続けました。これらは単なる埋め立て地ではなく、コンテナターミナルなどの港湾機能に加え、住宅や研究施設、商業施設を備えた「海上都市」として設計されているのが特徴です。
問12	答え 3 9月の降水量は約220mm程度であり、冬季は北西からの季節風の影響で、太平洋側の地域に比べて降水が見られる。	舞鶴市の気候は日本海側気候に分類されます。夏から秋にかけては台風や梅雨の影響で降水量が増えますが、9月のピークは約220mm程度であり、300mmを超えるような太平洋側（潮岬など）に比べると秋の降水量は少なめです。しかし、冬になると北西の季節風の影響を強く受けるため、太平洋側の地域と異なり、雪や雨による降水がはっきりと見られるのが大きな特徴です。
問13	答え 2 琵琶湖	滋賀県の中央に位置するこの湖は、日本で最も広い面積を持つ湖です。滋賀県内だけでなく、下流に位置する京都府、大阪府、兵庫県などの近畿地方の広域に住む人々の生活や産業を支える極めて重要な水資源となっています。